

- 衆議院議員わしお英一郎「出版記念パーティ」に参加
- 塩崎恭久厚生労働大臣と神奈川県会議員、役員が意見交換
- 「衆議院議員古賀篤国政報告会2016」に参加
- 衛藤征士郎議連会長と福島県会議員、役員が意見交換
- 「中西けんじを囲む公認会計士の会」通常総会を開催

政治連盟 第53回定期大会 開催 新体制を選任



6月15日、日本公認会計士政治連盟、第53回定期大会が公認会計士会館において開催された。今大会は黒田会長、鈴木幹事長体制の最後の大会である。税理士法改正反対運動にはじまり、企業の会計不祥事に奔走した激動の3年間であった。

活動報告

この1年間の活動状況については、鈴木幹事長から報告があった。

経済社会における公認会計士の活用、協会が抱える諸課題への対応などについて、「国会議員を囲む公認会計士の会」の議員や、各政党の公認会計士議員連盟に所属されている議員を中心に、議員会館の事務所や各議員のセミナー、懇親パーティなどで面談するなど、あらゆる機会を通じ、意見交換を行ってきた。近年、国会における公認会計士の認知度の高まりとともに、公認会計士に対する期待が高まり、農業協同組合法の改正、社会福祉法の改正、医療法の改正など、公認会計士の活躍の場が一段と拡大されてきた。

また、社会問題となった企業会計不祥事への対応では、各党の議連や自民党金融調査会などにおいて、会計監査の信頼性確保に向けた施策を提言し、理解を求めてきた。そのほか、IFRS任意適用の促進、統一的な基準による地方公会計の促進、会社法及び金融商品取引法の開示・監査制度の一元化、監査時間の確保、監査報酬の引上げなど数多くの課題に対し、国会議員の理解と支援を得るための積極的な活

動を行った。また、公認会計士がその資格で税務業務が出来るよう説明を行った。

なお、公認会計士による国会議員の後援会組織の設立を促進し、「議員を囲む公認会計士の会」の数は現在41となった(3年前の囲む会は25)。また、政治連盟の財政強化策に関し、会費のコンビニでの支払いが可能な納付依頼書に変更するとともに、口座振替制度への加入を促進してきた。政治連盟の活動に対して、今後も尚一層のご理解を賜り、会費納付にご協力をいただきたい。

役員改選

黒田会長から新役員の提案があり、全会一致で承認された。協会会務と政連活動は表裏一体の関係であり、協会が行う関係省庁(行政)への対応と、政連が行う国会議員(立法)への対応とは緊密に連携を図る必要がある。したがって、協会会長を務めた人が次期の政連会長に就くことが最善の選択であり、現協会会長の森公高氏を政連会長にしたいとの提案であった。副会長には次期の本部副会長、地域会会長及び政治連盟地方会会長、会計監査は小西彦衛氏、和貝享介氏が選任された。新役員は別表のとおりであり、幹事長に山田治彦氏(次期本部副会長)、幹事長代行に松下政経塾出身の井上東氏(次期本部常務理事)が選任された。

規約の一部変更

黒田会長から規約の一部変更について

会長退任のご挨拶

日本公認会計士政治連盟会長
黒田克司



平成15年の公認会計士法大改正は、日本の成長を期待して平成30年5万人体制を目指すものでした。然しながら、新試験が施行され最大の合格者を輩出した平成20年にリーマンショックによる世界同時不況がもたらされ、我が業界にも大きな影響を与えることになり、二つの大きな課題を抱えることとなりました。企業財務会計士制度の導入と税理士法改正問題です。企業財務会計士制度は、待機合格者対策の一つでもありましたが、このような制度の導入は殆どの会員が望むところではなく、将来に禍根を残すだけであり、最終的に廃案となりました。また、税理士資格については、昭和26年の法改正により制度設計はすでに完了しており、公認会計士の租税に関する資質を改めて質す必要などまったくないということはその後の長い歴史によっても証明されています。ただし、現実的な調和策として公認会計士登録要件の一つである実務補習教育の過程で租税の力を充実させることとしました。したがって、公認会計士有資格者の税理士登録要件には一切影響がありません。これも、会員の総意として実現したところ です。

今般、会長を退任いたしますが、会長代行時代も含めこのような大きな課題に対処できたのは、公認会計士制度の発展を支えてくれる国会議員の先生方はもとより、当連盟役員及び会員の皆様のご支援によるものです。改めて、深謝申し上げます。

最後に、公認会計士制度のさらなる国際化等も含め当連盟には多くの課題がありますが、皆様方のご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

相談役	顧問	特別顧問	常任幹事	会計監査	幹事長	幹事長代行	副幹事長(管掌)	副会長	会長
藤沼亜起	川北博	黒田克司	総務局長 山田眞之助	小西彦衛	山田治彦	井上東	加藤達也(総務局)	浅井万富	森公高
増田宏一	山本秀夫		次長 上林三子雄	和貝享介			佐藤裕紀(国会対策局・組織局)	鈴木昌治	
山崎彰三	中地宏		財務局長 中村元彦				北方宏樹(広報局)	高田篤	
以上	奥山章雄		次長 小暮和敏				海野正(関係団体対策局)	柳澤義一	
			次長 酒井宏暢				新井達哉(地方議会対策局)	石川信行(北海道)	
			次長 志村さやか					尾形克彦(東北)	
			次長 結城秀彦					蛭川俊也(埼玉)	
			次長 小倉加奈子					岡田敏男(千葉)	
			次長 後藤紳太郎					高品彰(神奈川県)	
			次長 高野伊久男					柴田和範(東海)	
			次長 高野伊久男					木田稔(京滋)	
			次長 高野伊久男					林俊行(兵庫)	
			次長 高野伊久男					石川千晶(四国)	
			次長 高野伊久男					貞閑孝也(南九州)	
			次長 高野伊久男					田里友治(沖縄)	
			次長 高野伊久男					岩切英彦(南九州)	
			次長 高野伊久男					本野正紀(北部九州)	
			次長 高野伊久男					蔵田修(中国)	
			次長 高野伊久男					清水要吉(神奈川県)	
			次長 高野伊久男					堀仁志(北陸)	
			次長 高野伊久男					前原一彦(東京)	
			次長 高野伊久男					清水要吉(神奈川県)	
			次長 高野伊久男					小川泰彦(近畿)	
			次長 高野伊久男					藤田修(中国)	
			次長 高野伊久男					本野正紀(北部九州)	
			次長 高野伊久男					岩切英彦(南九州)	

説明があり、質疑応答後、規約の一部変更は承認された。今回の主な変更点は、役員等の任期についてである。

政治連盟の規約に定めるとおり、政治連盟の事業は協会と連携して行うとされていることから、政連役員との任期と協会役員との任期を一致させることとし、政連役員との任期は協会の定期総会の翌日に始まり、3回目の協会定期大会の日までとすることに改めた。

また、本連盟の政治活動の有効性をさらに高めるため、協会会長に関する規定と平仄をあわせることとし、政連会長は連続し

て再任できないものとした。

活動方針

鈴木幹事長から、政治連盟の次期の活動方針について説明があり、質疑応答後、承認された。

- 1.公認会計士制度の一層の充実・強化・発展のため、法改正等、制度的枠組みの見直しを求めるとともに、監査の質の向上、情報開示の一元化などの諸問題に関し、日本公認会計士協会と緊密に連携し、適時、強力な施策を講じる。

2.公認会計士がその資格で税務業務が出来るよう公認会計士法の改正を含め、関係法令の整備を求める。

3.国会議員等に対し、公認会計士制度に対する理解と協力を得るための諸施策を講じるとともに、適時、適切な支援活動を、強力に推進する。

4.当政治連盟の活動に対する会員の理解と協力を得るため、広報活動等を活発に展開する。

5.当政治連盟の目的達成に必要な諸施策を推進するため、組織を活性化するとともに、更なる財政の強化に努める。



活動報告

衆議院議員わしお英一郎「出版記念パーティ」に参加

平成28年5月31日

「全身政治家」(幻冬舎)が本年1月に出版された。著者は公認会計士国会議員のわしお英一郎衆議院議員(比例北信越、民進)である。その出版記念パーティが学士会館において開催され、当政治連盟から多数の役員が参加した。衆参同日選挙があるかも知れないとの噂であったが、参議院選挙一本に絞られるとの観測が広まった中での開催であった。鷲尾英一郎議員から、前回の選挙では102票の差で勝利することができず、悔しい思いをした。次はなんとでも選

挙区で勝利したい。自身の政治信条、政策を貫くためにも必ず選挙区で勝たねばならないと力強くスピーチされた。著書の「全身政治家」で、いかなる政治状況にあっても不動心を持ち続け、党内をまとめ、日本の行く末にとって重要な決断を行い、国民を巻き込んでいく「深沈厚重」なる人物を目指したいと述べられている。今後も当政治連盟は東京イーグル会とも連携を図り、支援を強化していきます。地元新潟の会員・準会員の皆様のご協力をお願いいたします。



わしお英一郎衆議院議員

「衆議院議員古賀篤国政報告会2016」に参加

平成28年6月6日

福岡市天神のエルガーラホールにおいて、「衆議院議員古賀篤国政報告会2016」が開催された。古賀篤衆議院議員(自民、福岡3区、会計士補)は、総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官の立場で政府の一員としてご活躍中であり、政治連盟北部九州地方会から森行一会長をはじめ5名が出席し、古賀議員と懇談的に意見交換を行った。



古賀篤衆議院議員

「中西けんじを囲む公認会計士の会」通常総会を開催

政治連盟神奈川県会

平成28年6月17日



中西けんじ参議院議員

塩崎恭久厚生労働大臣と神奈川県会会員、役員が意見交換

政治連盟神奈川県会

平成28年6月12日

日本公認会計士協会神奈川県事務局(横浜市)に、塩崎恭久厚生労働大臣をはじめ、小此木八郎衆議院議員、島村大参議院議員などが訪問された。神

奈川県会の会員、役員が多数応対し、公認会計士を取りまく諸課題、参議院選挙の情勢などについて意見交換を行った。



塩崎恭久衆議院議員 小此木八郎衆議院議員 島村大参議院議員

衛藤征士郎議連会長と福島県会会員、役員が意見交換

政治連盟東北地方会

平成28年6月14日

日本公認会計士協会福島県会(郡山市)に、公認会計士制度振興国会議員連盟会長の衛藤征士郎衆議院議員が初訪問。福島県会の会員、役員が出席し、公認会計士を取りまく諸課題、参議院選挙の情勢などについて懇談的に意見交換を行った。また、9月16日、日本公認会計士協会研究大会を郡山市で開催する

予定であり、全国から千名近い公認会計士、準会員を集め、東北復興への一大イベントにしたいとの思いが伝えられた。(出席者:後列左から大出隆秀監事、阿部哲、渡辺和栄常任幹事、前列左から荒井伊佐男、上石三好、衛藤征士郎代議士、橋本寿前福島県会長、菅家惣一郎幹事)



衛藤征士郎衆議院議員

ホテル横浜キャメロットジャパンにおいて、「中西けんじを囲む公認会計士の会」第4回通常総会が開催された。中川隆之囲む会会長をはじめ、多くの囲む会のメンバーが出席した。中西健治参議院議員(無所属、神奈川県選挙区)は今回の参議院選挙に自民党の推薦を受け、無所属で出馬される。黒田政連会長から、神奈川県会及び囲む会と連携を図り、大勝利に向けてしっかりと支援させていただくとの強いメッセージとともに、日本公認会計士政治連盟の推薦状が中西議員へ手渡された。中西議員から、待機

児童の問題など様々な重要な課題があり、どれもこれも解決しなければならない重要な課題であるが、経済の再生が一番の重要課題であると思う。長年にわたってデフレが続き、経済が低迷し、あきらめ感が日本中に充満しているが、ピンチはチャンスであり、経済の立て直しを最優先課題として取り組んでまいりたいと決意のほどが述べられた。

